

第 4 回

熊本県議会

建設常任委員会会議記録

平成29年9月7日

開 会 中

場所 第 3 委 員 会 室

第4回 熊本県議会 建設常任委員会会議記録

平成29年9月7日(木曜日)

午前10時19分開議

午前10時26分閉会

本日の会議に付した事件

第18号 工事請負契約の締結について

出席委員(7人)

委員長	淵上陽一
副委員長	内野幸喜
委員	荒木章博
委員	坂田孝志
委員	森浩二
委員	松村秀逸
委員	大平雄一

欠席委員(なし)

委員外議員(なし)

説明のため出席した者

土木部

部長	手島健司
政策審議監	成富守
監理課長	藤本正浩
首席審議員兼	
道路整備課長	上野晋也

事務局職員出席者

議事課参事	小池二郎
政務調査課主幹	佐藤誠

午前10時19分開議

○淵上陽一委員長 おはようございます。

それでは、ただいまから第4回建設常任委員会を開会します。

まず、本委員会に付託されました議案を議題とし、議案について執行部の説明を求めた

後に質疑を受けたいと思います。

なお、執行部からの説明は、効率よく進めるために、着座のまま簡潔にお願いします。

それでは、担当課長から説明をお願いします。

藤本監理課長。

○藤本監理課長 監理課でございます。建設常任委員会説明資料1ページをお願いいたします。

第18号議案、工事請負契約の締結について説明をいたします。

工事名は、八代不知火線(横江大橋)28年発生橋梁災害復旧(過年)工事。工事内容は、橋梁復旧工。工事場所は、八代市鏡町宝出地内。工期は、契約締結の日の翌日から平成31年3月22日まで。契約金額は、6億2,316万円。これは、消費税及び地方消費税相当額を含む額でございます。契約の相手方は、土井・江川復旧・復興建設工事共同企業体。契約の方法は、一般競争入札でございます。

次の2ページをお願いいたします。

第18号議案の入札経緯及び入札結果について説明いたします。

1の競争入札に参加する者に必要な資格として、上段から、建設工事の種類、共同企業体の構成員数、格付等級または経営事項審査の総合評定値、営業所の所在地、施工実績に関する事項及び配置予定技術者に関する事項について、記載のとおり決定をしております。

2の評価に関する基準ですが、本工事は、入札時に技術申請書の提出を求め、技術評価と入札価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価方式の適用工事のうち、品質確保のための体制その他の施工体制の確保状況

を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査を行い評価を行う施工体制確認型総合評価方式で実施をいたしました。

施工計画としましては、橋梁復旧工事において重要である安全確保、品質確保及び施工上の課題対応から課題を設定し、提出された技術申請書の評価に基づく技術評価点を入札価格で除して算出した評価値が最も高い者を落札者といたしました。

次に、3ページをお願いいたします。

設定した課題は、安全管理に関して3項目、品質管理に関して4項目、施工上の課題対応に関して1項目、合計8項目としております。

3の開札及び総合評価結果でございますが、入札には2者の復旧・復興建設工事共同企業体が参加し、平成29年6月29日に開札を行い、評価値を算出しております。その結果、技術評価点が115.90で、税抜き5億8,873万6,000円の予定価格に対しまして、5億7,700万円で入札をしました土井・江川復旧・復興建設工事共同企業体が、評価値20.0867となり、落札を決定しております。

説明は以上でございます。

○淵上陽一委員長 以上で執行部の説明が終わりましたので、議案について質疑を受けたいと思います。

なお、今回の委員会は、本会議を休憩しての委員会でありますので、質疑は付託議案に関するものに限定させていただきたいと思っております。委員の皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

それでは、質疑はありませんか。

○荒木章博委員 これはもちろん、こういう復興の件では早急にやらなきゃいかぬことだと思うんですけども、今後、こういうのは、今県の予算関係の中で考えられているのはありますか。

○藤本監理課長 5億以上が議会の議決をいただく必要がある工事なんですけど、それが約10件程度ございます。これに関しましては、今後このような形をとるのかどうするのかを、今相談をさせていただいておるところです。また方針が決まりましたら御説明に上がりたいと思っております。

○荒木章博委員 あと残り10件ぐらい発注があるということで、もちろん5億以上ということですね。だから、毎回毎回議会サイドでこういう形をとられるのか、今後検討することですけれども、こういうのはやっぱり復旧ですから、復旧、復興の工事というのは早急にやっぱり対応してやらなきゃいかぬというふうに思いますので、できるだけ早くまとめて、設計も発注もやられるように要望しておきます。

以上です。

○藤本監理課長 数字について正確に申し上げますと、県の場合、今年度の発注見通しのうち5億円以上につきましては、現時点で14件程度ございます。そのうち、急いで復旧のために工事に着手する必要があるのが大体10件程度と考えておりますので、それらにつきましてこのような形をとらせていただくのか、または専決という方法をとらせていただくのかということについて、改めて検討して御相談をしたいと思っております。

○荒木章博委員 わかりました。了解しました。

○淵上陽一委員長 ほかに質疑はありませんか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○淵上陽一委員長 なければ、以上で質疑を終了します。

それでは、ただいまから、本委員会に付託
されました議案第18号について採決をいたし
ます。

原案のとおり可決することに御異議ありま
せんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○淵上陽一委員長 異議なしと認めます。よ
って、議案第18号は、原案のとおり可決する
ことに決定いたしました。

以上で本日の議題は終了いたしました。

これをもちまして第4回建設常任委員会を
閉会いたします。

午前10時26分閉会

熊本県議会委員会条例第29条の規定により
ここに署名する

建設常任委員会委員長